

特集展 | Kimiya Murakami

村上公也

～身近なもなたち～

2018.3|24(土)→5(日)

開館時間＝9:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日＝月曜日（4月30日は開館）

入館料=大人300円／学生(高校生以上)200円／小人100円

※幼児および南丹市内在住・在校の小・中学生は無料　※20名以上の団体は2割引
※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳を持つ方と
その介護者は半額

展示会関連事業「ギャラリートーク」

4月14日[土] 13:30~、5月3日[祝] 10:00~ / 解説:村上公也氏

南丹市立文化博物館

〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町63番地 / TEL: 0771(68) 0081 FAX: 0771(63) 2983



- 自動車…京都縦貫自動車道「園部 IC」「八木西 IC」より約 5 分。園部公園駐車場をご利用ください。
- 電車…JR 京都駅下車、園部駅西口より京阪京都交通バス「八田線」もしくは「園篠線」に乗車、「交流会館前」下車すぐ。または、市営くるりんバスに乗車、「図書館前」下車すぐ。園部駅から徒歩の場合は約 30 分。

村上公也

～身近な人たち～

1953年12月、村上公也氏は京都府船井郡園部町木崎町（現在の南丹市園部町木崎町）で生まれました。中学生の頃に絵を描くことが得意であると意識した村上氏は、進学した京都府立園部高等学校で美術部に入部。さらには美術団体「秋霜会」を結成して展覧会を行うなど、地域において精力的に美術活動を行っていました。その後、1973年4月に京都教育大学美術科に入学。師と仰いだ画家、桑田道夫や阿部壮の影響を受け、この頃に作風も具象画から抽象画へと変化していきました。

1978年、同校を卒業した村上氏は小学校教師となり、教鞭をとりながら制作活動を展開しています。1990年頃からは、シルクスクリーン等を活用した半立体の独特な作品を制作活動の主とするようになりました。2009年、31年間にわたって子供たちの指導にあたった小学校を退職。退職後は、村上氏の代名詞となっている「ターンバックル」に加えて、手紙や風呂の焚き口など、幼少期に身近にあったものをモチーフとして創作活動を行っています。

現在、行動美術協会の会員として活躍する村上氏ですが、その活動は作品制作だけに留まらず、音楽活動や教師時代に携わった特別支援教育についての講演・出版活動にまで及んでいます。

本展では、故郷の情景や身近な題材などから生み出される村上公也氏の作品とともに、氏の少年期から現在にいたるまでの足跡を紹介します。

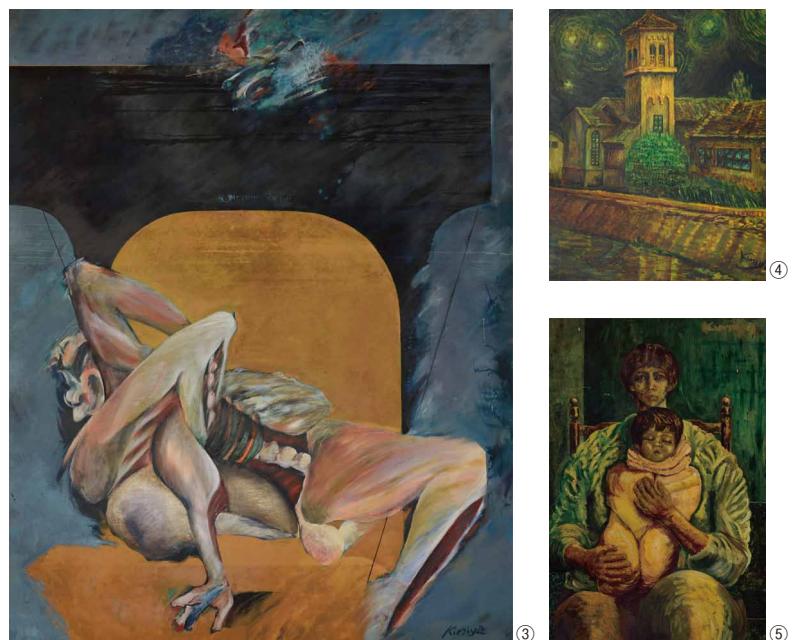
*

村上公也氏 略歴

- 1953年 京都府船井郡園部町（現在の南丹市園部町）に生まれる。
- 1978年 京都教育大学美術科を卒業。京都市立紫野小学校勤務。
第30回京展で紫賞を受賞。
- 1979年 全関西行動美展で全関西行動美術賞を受賞。
- 1980年 第34回行動展で奨励賞を受賞（以後毎回出品）。
- 1981年 第35回行動展で奨励賞を受賞、会友に推挙される。
- 1982年 第33回京展で市長賞を受賞。
- 1987年 第39回京展で市長賞を受賞。
- 1990年 IBM絵画・イラストコンクール ABC & PI展で優秀賞を受賞。
- 1991年 第13回エンバ賞美術展で芦屋市長賞を受賞（芦屋市立美術博物館買い上げ）。
- 1992年 第44回京展の版画部門で市長賞を受賞。
- 1994年 第46回京展で「BUCKETS」が須田賞を受賞。
- 1996年 第51回行動美展で京都府知事賞を受賞。
- 2000年 第55回行動美展に出品、文化庁現代美術選抜展に推薦される。
- 2001年 第56回行動美展で会友賞を受賞、会員に推挙される。
第35回現代美術選抜展（文化庁等主催）に出品。
- 2006年 第45回北陸中日美術展で佳作賞・ゆのくにの森賞を受賞。
- 2008年 第47回北陸中日美術展で佳作賞・日成ビルド工業賞を受賞。
- 2009年 京都市立鳳徳小学校を退職。
- 【現在】 行動美術協会会員／京都市在住

南丹市立文化博物館

〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町63番地 / TEL: 0771(68)0081 FAX: 0771(63)2983



【掲載図版】<表面>「手紙（部分）」2017年（個人蔵）<裏面> ①「焚き口」2011年（個人蔵）②「BUCKETS」1994年（個人蔵）③「階上の劇」1979年（個人蔵）④「黄色の夜」1971年（個人蔵）⑤「母子像」1971年（個人蔵）⑥「TURN BUCKLE 910-BG」1991年（個人蔵）